

事業所名

こすもすカレッジジュニア教室

こすもすカレッジジュニア豊四季教室

こすもすカレッジジュニア新松戸教室

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

3月

19日

|           |             |   |       |     |       |         |   |    |
|-----------|-------------|---|-------|-----|-------|---------|---|----|
| 法人（事業所）理念 |             | 「秋桜にかかわるすべての人に笑顔を…」<br>・いつも笑顔の絶えない、明るい施設<br>・地域に開かれた、透明性の高い施設<br>・職員が気持ちよく働ける、魅力ある職場  |       |     |       |         |   |    |
| 支援方針      |             | 「秋桜にかかわるすべての人に笑顔を」という法人理念をもとに、当教室では小学生・中学生を対象に、学習・進学・就職を意識したプログラムを提供しています。主なトレーニングには「学習」「パソコン」「SST（ソーシャルスキルトレーニング）」「職場体験」があり、日々の生活スキルの向上やお子様の将来の選択肢を広げることを目指しています。また、「こすもすに來ただけで100点！何かできたらさらに200点！」という100点満点の加点方式の支援により、自己肯定感を高め、ストレスや挫折に対する耐性を向上させることで、学習など様々なことに積極的に取り組む姿勢を養います。 |       |     |       |         |   |    |
| 営業時間      |             | 9時  | 30分から | 18時 | 30分まで | 送迎実施の有無 | あり  | なし |
|           |             | 支援内容  |       |     |       |         |   |    |
| 本人支援      | 健康・生活       | 睡眠や食事など、基本的な生活習慣が身につくようにスケジュールと一緒に考えたり、自立できるように支援を行います。また、学童期や青年期において、日々の生活だけではなく、一人一人のメンタルヘルスに重きを置きます。適切な自己有能感や自我同一性が育めるように、健康的な活動やQOLが向上するような余暇の提案を行い、生活のサポートを行っていきます。  |       |     |       |         |   |    |
|           | 運動・感覚       | 子どもの感覚特性に配慮し、安心して活動できる環境を整えます。粗大運動では主に遊びを通じた体力づくりを行います。微細運動ではハサミを使って線通りに紙を切ったり、見本と同じように物を作る制作のカリキュラムを通して、手先の巧緻性を高める作業や物品操作性技能を高める活動を行い、進学・就労・実生活に必要なスキルの向上を目指します。   |       |     |       |         |   |    |
|           | 認知・行動       | 読む・書く・聞く・見る・推測する力・耳から入る記憶・目で覚える記憶を養えるように、眼球運動、音韻の違い、情報の処理のスピードや情報の認識の仕方についてアセスメントを行い、総合的に支援を行います。注意・集中が続くように、子供たち一人一人に合わせて目標を設定し、取り組みやすい課題を繰り返し行うことで力を養っていきます。また、認知から行動に繋がるように想像しやすい場面を設定して、「こんな時どうする？」と場面から連想される課題に取り組むことで実生活での行動を養います。  |       |     |       |         |   |    |
|           | 言語コミュニケーション | 聴覚的、視覚的な指示理解や受動能動の使い分け、相手を考えてのコミュニケーションパターンや語彙の習得を目指して支援を行います。SSTのカリキュラムをメインとして日常会話の中でも良い言葉を増やし、言葉の言い換えや伝わりやすさを一緒に考えて言語にする力を養います。気持ちや感情に焦点を当てて、気持ちを温度計や点数にすることで可視化し、言葉にならない気持ちを言葉にできるように支援を行います。  |       |     |       |         |   |    |
|           | 人間関係社会性     | SSTのカリキュラムをメインとして相手の立場や振る舞いについて理解ができるように場面を想定して考える機会を設けて支援を行います。また、共感や相手を思いやる気持ちが身につくように人と自分の気持ちの違いや、同じ場面でも人によって感情が違うことを学べるようにサポートします。学童期のうちから社会で求められるマナーやルール、身だしなみについて、性別や立場、年齢に応じて変えて行く必要があることをじっくりと身につけられるように客観的視点も育むような支援を行います。   |       |     |       |         |   |    |
| 家族支援      |             | ご家庭でのお子様の様子などを把握する為に、必要に応じて電話や対面での面談を行います。また、年に一回程度の保護者会や保護者参加型のイベントを行うことで保護者同士でも情報共有できる機会を設けます。  |       |     | 移行支援  |         | 子どものアセスメント結果や個別支援計画書を元にモニタリングや担当者会議、面談を通して共有します。法人内での年齢の高い事業所への移行も情報共有を行いながら行います。 |    |

|           |  |         |   |
|-----------|--|---------|---|
| 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントへの参加</li> <li>・各種関係機関(学校、相談員など)との連携</li> </ul>  | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カンファレンス(毎日)</li> <li>・法人内の研修会(月1回程度)、eラーニングを活用した学びの機会</li> <li>・スタッフの支援の悩みに対する相談体制</li> </ul> |
| 主な行事等     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館や工場などの見学、クッキング、季節感を取り入れた制作活動、季節のイベントを取り入れた活動(夏祭り、クリスマス会など)</li> <li>・法人内の事業所での合同イベント</li> </ul> |         |   |